

草津市の財務書類（令和5年度決算）の概要

貸借対照表



主な資産の増減要因

・固定資産	
市立プール整備事業	42億円
大路野村線他道路	6億円
ふるさと創生基金	4億円
各小中学校改修工事	4億円
草津駅西口自転車駐車場	3億円
・流動資産	
減債基金	12億円
財政調整基金	3億円
・減価償却	▲63億円

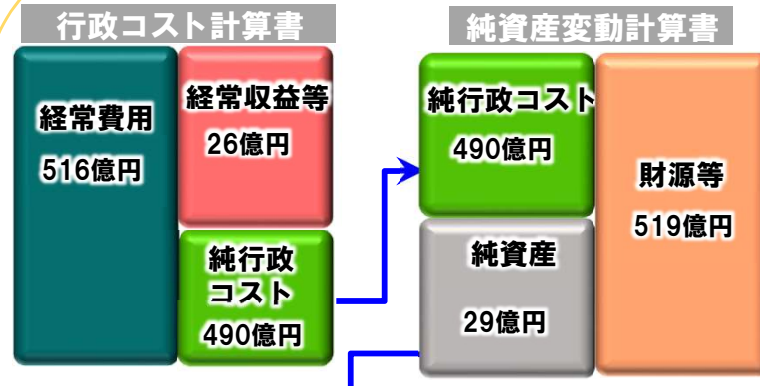
主な負債の減要因

R5 地方債新規発行	33億円	
R5 地方債償還額	43億円	差引 10億円

Point

R5においては、新規で取得した有形固定資産が、減価償却費を上回ったため、資産が増加しました。
また、市債の新規借入を抑制し、償還が進んだ結果、負債が減り、純資産が増えました。

行政コスト計算書および純資産変動計算書



経常費用 **516億円（対前年比：+15億円）**

民間保育所・認定こども園運営費や小中高校生医療助成費などの子育て支援の拡充や生活保護費などの扶助費の増による。

経常収益等 **26億円（対前年比：+1億円）**

使用料や手数料など、日常の行政サービスの対価として受け取る収入等です。

純行政コスト **490億円（対前年比：+14億円）**

民間保育所・認定こども園運営費や小中高校生医療助成費などの子育て支援の拡充や生活保護費などの扶助費の増による。

財源等 **519億円（対前年比：+21億円）**

都市構造再編集中支援事業費補助金の増や、市税の増などにより純行政コストを賄うことができました。

本年度純資産変動額 **29億円（対前年比：+6億円）**

Point

税収等の増により財源が21億円増加し、純行政コストを上回りました。その結果、純資産が29億円増加したことで将来世代も利用可能な資源を貯蓄できました。

資金収支計算書



本年度資金収支額の内訳

業務活動収支 **+71億円**

業務支出・・・452億円
業務収入・・・523億円

市税の増などにより、支出を賄うことができました。

投資活動収支 **▲64億円**

投資活動支出・・・94億円
投資活動収入・・・30億円

基金の取り崩しを抑制し、基金への積み立てを行ったことから赤字になっています。

財務活動収支 **▲10億円**

財務活動支出・・・43億円
財務活動収入・・・33億円

新たな市債の借入を抑制し、一方で償還が進んだことから赤字になっています。

Point

収入が支出を上回った結果、令和5年度末の資金残高は6億円となりました。